

# 交付運用報告書

## ソシエテ・ジェネラル イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券 (為替参照利回り変動型) ファンド2019-03 《愛称》アズーリ

単位型投信/海外/資産複合/特殊型(条件付運用型) **特化型**

第4期(決算日2023年3月24日)

作成対象期間(2022年3月25日~2023年3月24日)

### ●運用方針

イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券(為替参照利回り変動型)(以下、ユーロ円建債券とすることがあります。)を主要投資対象とし、利息収益の確保と信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

### 受益者のみなさまへ

平素は「ソシエテ・ジェネラル イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券(為替参照利回り変動型)ファンド2019-03」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、左記の運用方針に基づき信託財産の運用を行い、第4期の決算を行いました。ここに期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

| 第4期末(2023年3月24日)               |          |
|--------------------------------|----------|
| 基準価額                           | 10,310円  |
| 純資産総額                          | 4,381百万円 |
| 第4期<br>(2022年3月25日~2023年3月24日) |          |
| 騰落率                            | 1.8%     |
| 分配金合計                          | 140円     |

※騰落率は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

### ● 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号

ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

<運用報告書のお問い合わせ先>

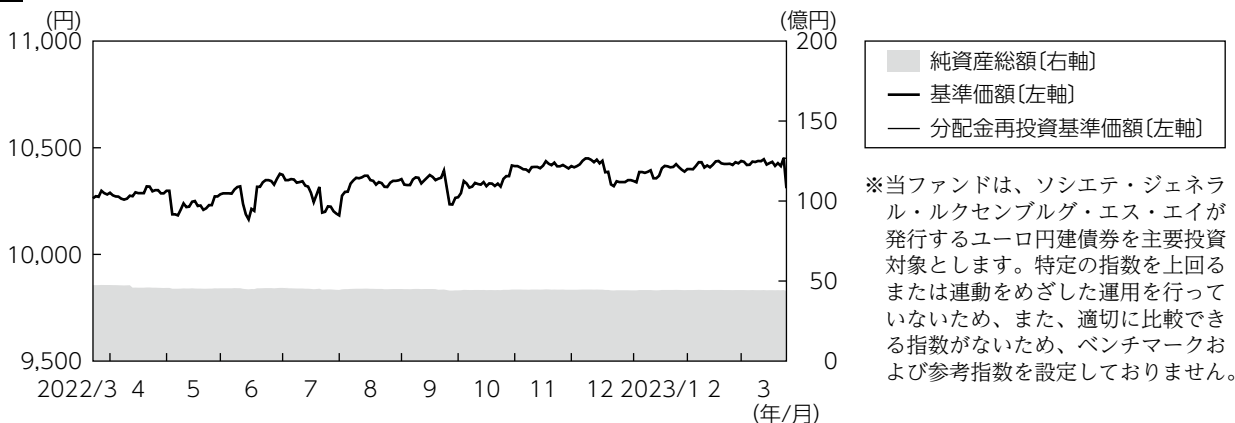
サポートデスク 0120-565787

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法により交付できる旨定めています。運用報告書(全体版)は、上記ホームページから「ファンド検索」にファンド名を入力⇒ファンドを選択⇒詳細ページで閲覧およびダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)を書面でご要望の場合は、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

## 運用経過の説明

### ■ 基準価額等の推移



第4期首(2022年3月24日)：10,263円

第4期末(2023年3月24日)：10,310円(既払分配金140円)

騰落率：1.8%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

### ■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券を主要投資対象とし、利息収益の確保と信託財産の成長を図ることを目指して運用を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

#### (上昇要因)

- ・ 利息収入が積み上がったこと
- ・ 2022年10月から12月前半にかけて右派出身のイタリア新首相が国際協調派や実務派を要職に起用し、対外的に穏健路線を強調したことが好感され、イタリア国債の信用スプレッドが縮小したこと
- ・ 期首より10月中旬にかけて、および2023年1月中旬から3月上旬にかけて米国の金融引き締め強化などを背景とする日米の金利差拡大観測から米ドルが円に対して上昇したこと

#### (下落要因)

- ・ 7月はイタリア首相の辞意表明から、9月はイタリア総選挙を控えて大衆迎合的な右派が優勢との見方を受けたバラマキ型の政策による財政悪化懸念からイタリア国債の信用スプレッドが拡大したこと

## ■ 1万口当たりの費用明細

| 項目        | 当期                    |         | 項目の概要   |
|-----------|-----------------------|---------|---|
|           | 2022年3月25日～2023年3月24日 |         |   |
|           | 金額                    | 比率      |   |
| (a) 信託報酬  | 43円                   | 0.418%  | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率<br>※期中の平均基準価額は10,333円です。 |
| (投信会社)    | (17)                  | (0.165) | ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価                         |
| (販売会社)    | (23)                  | (0.220) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価             |
| (受託会社)    | ( 3)                  | (0.033) | ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価                          |
| (b) その他費用 | 2                     | 0.017   | (b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数                        |
| (保管費用)    | ( 1)                  | (0.010) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用   |
| (監査費用)    | ( 1)                  | (0.005) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                         |
| (その他)     | ( 0)                  | (0.001) | 信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等                         |
| 合計        | 45                    | 0.435   |   |

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

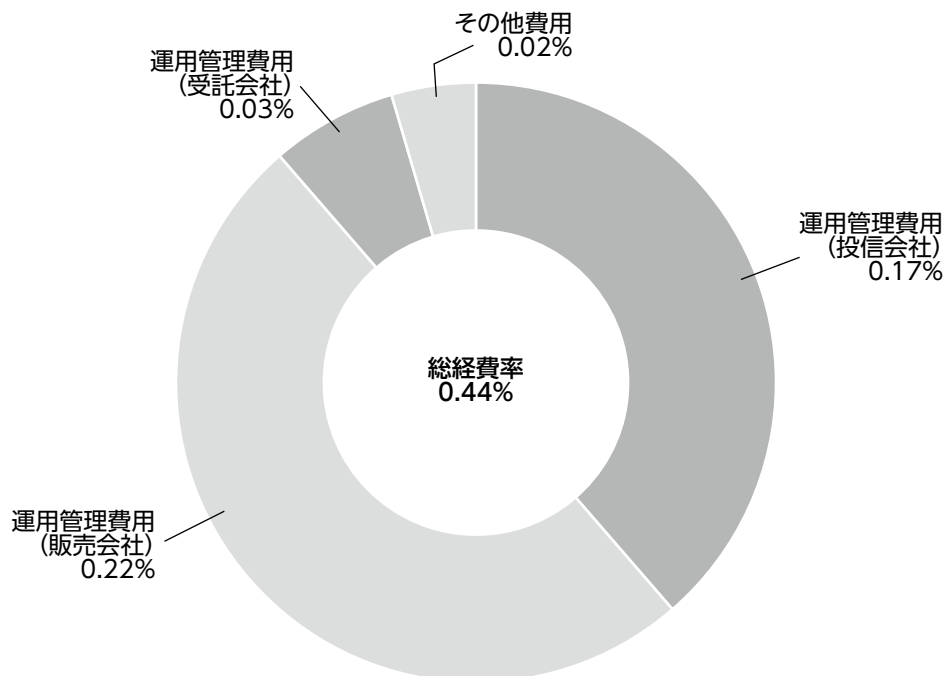
(注2)消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### （参考情報）総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.44%です。



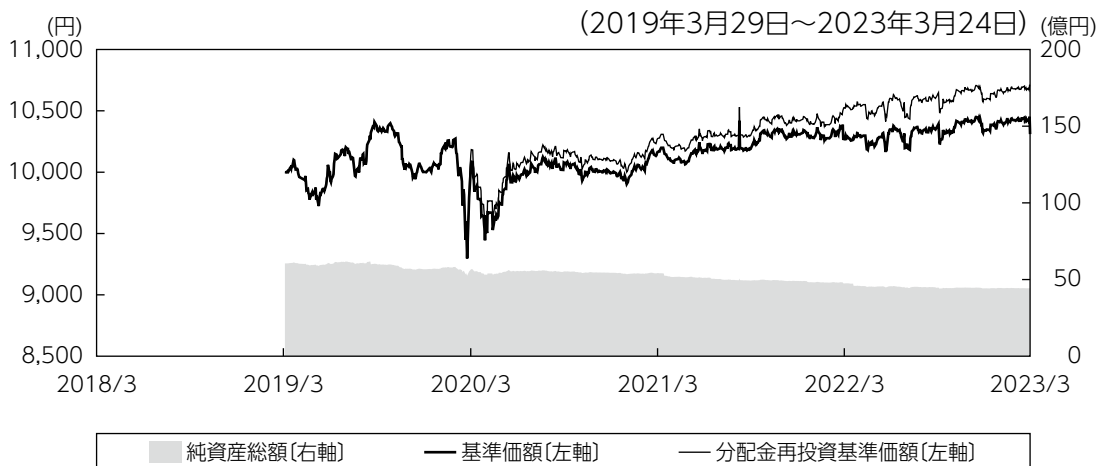
(注)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注)各比率は、年率換算した値です。

(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

|                   | 2019年3月29日<br>設定日 | 2020年3月24日<br>決算日 | 2021年3月24日<br>決算日 | 2022年3月24日<br>決算日 | 2023年3月24日<br>決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)          | 10,000            | 9,868             | 10,138            | 10,263            | 10,310            |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | —                 | 97                | 9                 | 140               | 140               |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                 | △0.4              | 2.8               | 2.6               | 1.8               |
| 純資産総額 (百万円)       | 6,052             | 5,561             | 5,405             | 4,747             | 4,381             |

※当ファンドは、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券を主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

※2020年3月24日の騰落率は設定時との比較です。

※設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本です。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

※純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## ■ 投資環境

当期のユーロ圏全般の金利は上昇（債券価格は下落）しました。米国長期金利の上昇に加えて、ECB（欧州中央銀行）やBOE（イングランド銀行）による金融引き締め動きや、ウクライナ情勢の長期化による天然ガスなどエネルギー価格の高止まりを受けた金融引き締め強化の見方などから、概ね上昇基調となりました。

イタリア国債の信用スプレッドについては拡大しました。期首から2022年9月にかけて、世界的な金融引き締め動きを受けたイタリアの財政赤字拡大への懸念や首相の辞意表明などから拡大しました。その後期末にかけては、右派出身のイタリア新首相が国際協調派や実務派を要職に起用し、対外的に穏健路線を強調したことが好感されたことや、欧州圏の国債で相対的に利回り水準が高いイタリア国債を選好する動きが強まったことなどから縮小しました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

期首の運用方針に基づき、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券の組入比率を高位に維持しました。

当期における投資対象債券の利率決定に関しては以下の通りとなりました。

銘柄名：イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券（為替参照利回り変動型）

| 利払日        | クーポンレート<br>(年率) | クーポン基準日    |           | クーポン判定日   |           |
|------------|-----------------|------------|-----------|-----------|-----------|
|            |                 |            | 米ドル円為替レート |           | 米ドル円為替レート |
| 2023年3月15日 | 2.15%           | 2019年3月29日 | 110.735円  | 2023年3月1日 | 136.405円  |

※米ドル円為替レートは原則として午後3時(東京時間)におけるBloomberg BFIX米ドル円為替相場の仲値  
(出所：Bloomberg)

### <クーポンレート（利率）決定の仕組み>

- ①第1回 第1回利払は固定利率が適用されます。  
固定利率 年率 1.49%
- ②第2回以降 クーポン基準日の米ドル円為替レートと比較したクーポン判定日の米ドル円為替レートにより次のとおりとなります。  
110.735円以上の円安の場合：年率 2.15%  
110.735円未満の円高の場合：年率 0.51%

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券を主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ■ 分配金

- ・収益分配は、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり140円（税込み）とさせていただきます。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の運用方針

引き続き、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行するユーロ円建債券の組入比率を高位に維持します。

## お知らせ

該当事項はございません。

## 当該投資信託の概要

|        |   |
|--------|---|
| 商品分類   | 単位型投信／海外／資産複合／特殊型（条件付運用型） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">特化型</span>   |
| 信託期間   | 2019年3月29日から2025年3月14日  |
| 運用方針   | イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券（為替参照利回り変動型）（以下、ユーロ円建債券とすることがあります。）を主要投資対象とし、利息収益の確保と信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。   |
| 主要投資対象 | ソシエテ・ジェネラルの100%子会社であるルクセンブルグ籍の「ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイ」が発行するユーロ円建債券を主要投資対象とします。  |
| 運用方法   | ユーロ円建債券の組入比率は高位を保つことを基本とします。<br>※ユーロ円建債券の年1回のクーポンレート（利率）は、米ドル円為替レートの水準によって決定されます（初回クーポンレート（利率）は固定）。<br>設定当初に組み入れたユーロ円建債券については、一部解約の対応で売却する部分を除き継続保有し、原則として銘柄入れ替えを行いません。   |
| 分配方針   | 年1回（3月24日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて、収益の分配を行います。<br>①分配対象額は、元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額とします。<br>②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。<br>③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 |

当ファンドは特化型運用を行います。

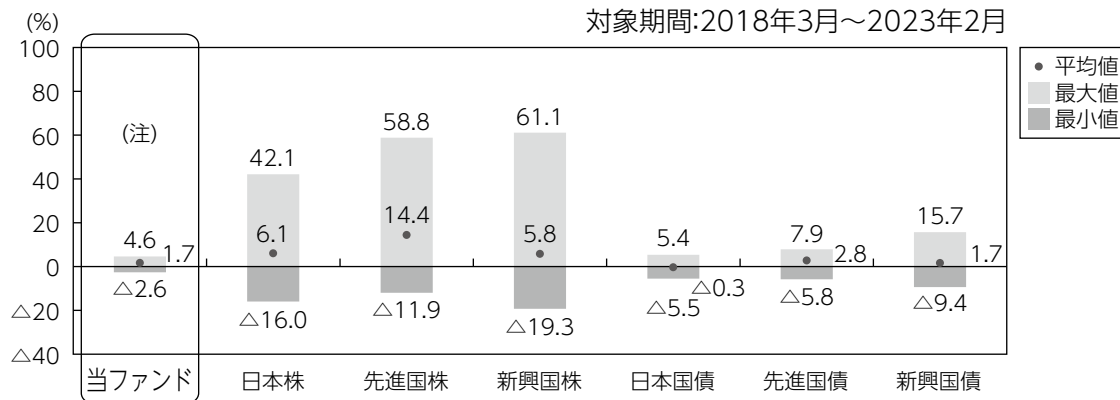
特化型運用ファンドとは、一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するファンドをいいます。

※寄与度とは投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める割合または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成割合をいいます。

当ファンドは、ソシエテ・ジェネラル・ルクセンブルグ・エス・エイが発行する「イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券（為替参照利回り変動型）」に集中投資をしますので、当該ユーロ円建債券の発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。また当該ユーロ円建債券の原資産であるイタリア国債の価格急落や債務不履行等があった場合には、その影響を受け、大きな損失が発生することがあります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記グラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、対象期間5年間の各月末における直近1年間の騰落率データ(60個)を用いて、平均、最大、最小を表示したものです。

※ファンドの年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額(分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算)をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。また、決算日を基準日とした年間騰落率とは異なります。

※すべての資産クラスが、当ファンドの投資対象とは限りません。

(注)当ファンドの年間騰落率のデータ数は、設定日から5年分(60個)に達していないことから、代表的資産クラスのデータ数と異なります。

### ※各資産クラスの指数について

| 資産クラス | 指数名称                                    | 権利者                               |
|-------|---|-----------------------------------|
| 日本株   | 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)                   | 株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 |
| 先進国株  | MSCI-KOKUSA I (配当込み・円換算ベース)             | MSCI Inc.                         |
| 新興国株  | MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円換算ベース)  | MSCI Inc.                         |
| 日本国債  | NOMURA-BPI (国債)                         | 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社     |
| 先進国債  | FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)       | FTSE Fixed Income LLC             |
| 新興国債  | J P モルガン GB I-EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) | J.P.Morgan Securities LLC         |

(注)海外指数は、対円での為替ヘッジなしによる投資を想定して、各月末の指数値を円換算または円ベースとしています。

※各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、上記に記載の各権利者に帰属します。

また、各権利者は当ファンドの運用成果等に関し一切責任を負いません。

各指数の詳細は後掲の「代表的な資産クラスの指数について」をご参照ください。

## 当該投資信託のデータ

### ■ 当該投資信託の組入資産の内容

#### ○ 組入銘柄

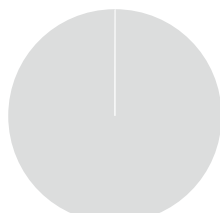
組入銘柄数：1

| 銘柄名                             | 債券種類  | 償還日        | 組入比率  |
|---------------------------------|-------|------------|-------|
| イタリア国債ユーロ円建リパッケージ債券（為替参照利回り変動型） | ユーロ円債 | 2025年3月11日 | 97.9% |

※組入比率は当期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

#### ○ 資産別配分



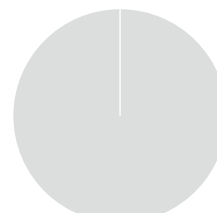
ユーロ円建債券  
100.0%

#### ○ 国別配分



ルクセンブルグ  
100.0%

#### ○ 通貨別配分



日本円  
100.0%

※当期末におけるポートフォリオ評価額に対する比率

### ■ 純資産等

| 項目         | 第4期末<br>2023年3月24日 |
|------------|--------------------|
| 純資産総額      | 4,381,126,860円     |
| 受益権総口数     | 4,249,449,022口     |
| 1万口当たり基準価額 | 10,310円            |

※当期中における解約元本額は376,254,564円です。

## <代表的な資産クラスの指数について>

**東証株価指数（TOPIX）（配当込み）**は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

**MSCI-KOKUSAI**は、MSCI Inc.が算出する日本を除く世界主要国の株式市場を捉える指数として広く認知されているものであり、MSCI-KOKUSAI指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

**MSCI エマージング・マーケット・インデックス**は、MSCI Inc.が算出する新興国の株価の動きを表す代表的な指数であり、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

**NOMURA-BPI（国債）**は、日本国債の市場全体の動向を表す、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

**FTSE世界国債インデックス**は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

**JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド）**は、J.P.Morgan Securities LLC（JPモルガン）が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、JPモルガンの知的財産です。JPモルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

 明治安田アセットマネジメント株式会社